

第4回定例会

補正予算（住宅確保給付金の追加、大塚駅北口整備事業等）など

令和2年11/18～12/8が会期。

所属する総務委員会の主な議案は、

- ・特別職・職員・議員の期末手当を人事委員会勧告等に基づき引き下げる議案（詳細はblogに記載）

・補正予算第6号（一般会計4.07億円。指定管理者への施設休業による損失補填、住宅確保給付金の追加計上、池袋駅東口グリーン通りに設置されていた2箇所の喫煙所の撤去費等、大塚駅周辺整備事業（大塚駅北口駅前広場整備）の追加費用など）



新型コロナウイルス感染症対策

救援センターでの感染症対策

自然災害と感染症対策が重なる「複合型災害」へ対応する救援センター運営マニュアルを策定、昨年夏は35カ所で職員向け訓練、10月はコロナ対策検証訓練、11月からは4カ所で地域防災組織向けに展示型・体験型訓練を実施。



↑10月の訓練、受付では飛沫防止対策などを講じています

救援センターでの主な留意点は以下の通りです。

- ・避難者受入時、感染症の疑いがある方と健康な方の動線分離
- ・避難後に発熱などの症状が出た方との避難場所の分離
- ・防護服、マスク、手袋など必要な資機材の準備と着脱訓練
- ・避難所内のソーシャルディスタンス確保、飛沫感染防止策

症状がある場合の受診方法

発熱等症状がある場合の受診方法は以下の通りです。

(1)かかりつけ医がいる場合



かかりつけ医へ電話で相談し

医療機関の指示に従い受診

(2)かかりつけ医がない場合、相談先に困っている場合

東京都発熱相談センターへ相談

☎ 03-5320-4592 (24時間対応)

大塚駅北口整備事業

補正予算では、街路灯・照明器具増設など追加経費を計上。新型コロナの影響で、令和3年3/12→同年3/31に工期延長。今後は、3年度に一部の路上駐輪場工事（公衆トイレ裏通り）、4年度は都交差点工事、5年度に東側道路整備の予定。工事と並行して大塚駅北口駅前広場のネーミングライツの募集が行われました（優先交渉権者は3年1月中旬に公表の見込み）。これには広告効果の他に社会貢献の意味合いもあります。命名権料はランニングコストに充当されます。

北口は客引き行為に対するご相談を受けることが多いため、区や警察へ対応を再三申し入れております。

令和3年度からは池袋西口と同様に、客引き行為の抑止をするための人員配置を行う旨の答弁を得ています。大塚駅周辺が賑わい創出の場だけにとどまらず、安全安心な場となるよう努めます。



都民ファーストの会

豊島区議団・民主の会

豊島区議会議員 細川正博 活動レポート Vol.033 令和3年新春号

子供たちの世代へ責任ある政治を!!

巣鴨小OB。豊島に恩返し。

細川正博

〒170-0005 豊島区南大塚1-51-17

Mail info@hosokawamasahiro.jp

TEL 03-3945-2530 FAX 03-6774-8774



感染症対策へ万全を期し、SDGsの理念を踏まえた持続発展都市へ歩みを進める年に

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【細川正博（ほそかわまさひろ）・略歴】
昭和53年10月、豊島区南大塚生まれ。平成23年初当選、現在3期目。都民ファーストの会豊島区議団・民主の会幹事長、環境・清掃対策調査特別委員会委員長。巣鴨幼稚園、巣鴨小学校、法政大学法学部政治学科卒。サラリーマンとして約10年勤務。3児の父。

- ・政策等の詳細、日々の活動はHP/Blog/Facebook/twitterにて発信中！
- ・ご希望の方には活動レポートを封書にてお届けします。ハックナバードはHPに掲載。

昨年はコロナ禍への対応に苦心した一年でした。幹事長を務める会派では区に対し数次にわたりコロナ対応を適宜要望しました。引き続き感染症対策に注力します。

本区は昨年7月に「SDGs未来都市」などに選定されました。SDGsとは国連サミットで採択された2030年を年限とする17の国際目標のことです。SDGsの理念を踏まえた持続発展都市へ歩みを進める一年とする所存です。

イケ・サンパーク、としまキッズパークがオープン

としまキッズパーク



旧造幣局東京支局跡地に、区内最大の公園である「イケ・サンパーク（としまみどりの防災公園）」と、「としまキッズパーク」がオープンしました。

同エリア内では他に、2023年開校予定の東京国際大学池袋キャンパスの工事が行われています。サンシャイン60の隣接地であり、大塚駅から徒歩10分、池袋駅から徒歩15分、東池袋駅から徒歩5分の好立地。既にたくさんの人でにぎわう人気スポットとなっています。

平時は憩いとにぎわいの場

・約6,600m²の芝生広場

・昨年12/12、カフェが開業し全面開園



- ・週末はファーマーズマーケットを開催
- ・埼玉県の農産物、交流都市の特産物、区内の名産品など50ブースが出店
- ・小規模店舗が集まるKOTO-PORT

非常時は防災公園として機能

非常時の主な機能

- ・深井戸機能（毎分2トンの水を汲み上げ可能）
- ・災害用ヘリポート
- ・応急給水槽（飲料水）
- ・災害対策トイレ
- ・耐震性貯水槽
- ・非常用自家発電機
- ・備蓄倉庫（延べ400m²）
- ・かまどベンチなど



第3回定例会 SDGs都市宣言、補正予算など可決、元年決算認定、一般質問で登壇

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



9/16～10/22 が会期。SDGs 都市宣言が全会一致で可決。

補正予算第4号（一般会計 6.76 億円。予防接種経費、保育施設等職員の PCR 検査費用など）、同5号（一般会計 0.67 億円。区独自の中小事業者等向け物品購入費等・文化事業経費補助、介護サービス事業者等の PCR 検査費用、ひとり親世帯緊急支援給付金など）も可決。多くの事業が新型コロナ関連です。

総務委員会では、補正予算の他、長崎健康相談所・児童相談所、池袋第一小学校改築の契約案件などを審議、西巣鴨中学校外壁等工事などの報告を受けました。



特別支援教育について一般質問

9/25 の一般質問に登壇しました。（詳細は blog に記載。QR コードからアクセス可能です。）

表題「多様性を尊重した共生社会の形成」

補正予算4号で「学校におけるインクルージョンに関する実践的研究事業」を予算計上、要小学校で研究事業を行います。研究事業の目的などを確認すると共に、本区の特別支援教育全般について質問。

研究事業では、交流及び共同学習の頻度増、障害のある子もない子も共に活動する機会を設け学校内のインクルーシブな環境づくりを行うこと、などを提案しました。



豊島清掃工場を視察 環境・清掃対策調査特別委員会



委員長を務める環境・清掃対策調査特別委員会で、12/14に豊島清掃工場を視察しました。



（詳細は blog に記載。QR コードからアクセス可能です。）

視察の目的は、ごみ分別の状況の確認など。

ごみの分別が不十分なことによる不燃物の混入により、焼却炉の計画外停止が今年度だけで3回も起きています。炉を休止して不燃ごみの撤去を行い再稼働するのですが、この作業には概ね1週間程度掛かります。また、2基ある炉の片方が計画外停止した場合、もう片方の炉に負担が掛かってしまうデメリットもあります。

今年度はコロナ禍の影響により家庭ごみが増加傾向にあり、それに伴って可燃ごみへの不燃ごみ混入の増加している、とのこと。

今一度、ごみの分別の徹底にご協力頂ければ幸いです。



↑ 視察中は防護服や防塵マスクなども着用して実施。
(通常見学エリアは平服で可)

↑ ホチキスの芯やキーホールダーのチェーンなど細かい金属も絡まります

令和元年度決算を認定 決算特別委員会

10/7～21、決算特別委員会が行われ、令和元年度決算は賛成多数で認定されました。

一般会計決算額は歳入が 1462 億 9700 万円（前年比 +11.1%）、歳出が 1424 億 5900 万円 (+10.8%) で、集中投資を行った年度だったために歳入歳出決算額ともに過去最大規模。

総括質疑では、財政規律の基本的な考え方などを確認。

款別審査では以下を取り上げました。（詳細は blog に記載。QR コードからアクセス可能です。）

総合評価入札制度／地域安全対策事業（大塚駅北口の客引き対策で警備員配置の答弁あり）／

ひきこもり対策／大塚駅周辺整備事業／造幣局跡地公園事業／いじめ防止対策推進事業／

電子図書館（事業の周知、区立小中のタブレット端末を活用した読書活動推進など提案）／

中学生の宝塚歌劇の鑑賞事業（同事業継続を求め、公演再開後継続の答弁あり）／

学校の長寿命化計画策定事業／区立保育園の役割／

<歳入> 豊島区狭小住戸集合住宅税／

<3特別会計> 国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険のコロナ禍における保険料減免

総合評価入札制度

首都直下型地震などの災害時、施設の応急処置などの対応が期待できるのは地元企業であり、地元企業の育成は長い目で見て地域の力となります。



こうした観点から、地元企業優先などの配慮を再三求めております。2年度から一部改善されましたが、他区と比較するとまだ不十分です。

- ・コロナ禍で防災訓練が実施できなかったことを踏まえた防災活動評価点の救済措置 ⇒ 対応する
- ・地域貢献点の更なる上限見直し ⇒ 検討する
- ・前払い金限度額の上限見直し ⇒ 検討する

学校の長寿命化計画策定事業

学校改革は一巡に数十年掛かるため、計画的に行う必要があります。



今後 10 年間で小中学校 30 校中 17 校が築 60 年以上となります。中学校に限ると 8 校中 6 校が改築又は改築の目処が立っており、区東部の西巣鴨中と駒込中を残すのみ。

まずは仮校舎の適地を検討するよう求め、今後適地を検討する旨の回答を得ています。

関連して西巣鴨小学校の「西巣ランド」の早期の更新を求めると共に、設備更新時にはインクルーシブな遊具の検討も促しました。

ひきこもり対策

3年4月から施行される「改正社会福祉法」には、制度の狭間だった「ひきこもり支援」につき、包括的支援の体制構築の方向性が示されています。この事を踏まえ、現状の確認や相談体制やリーフレットなどの改善を提案。

提案後、担当部署による家族会や当事者団体へのヒアリング内容を踏まえた相談窓口のリーフレットが改善されました。

豊島区の「ひきこもり相談窓口」

☎ 03-4566-2454

くらし・しごと相談支援センター（本庁舎4階）

月～金 9:00～16:00

しかし、同税のみでの抑止効果は限定的であり、更に踏み込んだ対応を検討すべきです。

豊島区狭小住戸集合住宅税

いわゆる「ワンルームマンション税」のこと、一定規模の狭小住戸集合住宅の建築時に1戸当たり 50 万円の課税。単身世帯に偏る世帯構成の中、少しでも広い住宅供給を誘導しようとするもの。



住宅ストックの適正化に向け、用途地域の変更やファミリー向け住宅の附置義務の条例検討、地区計画の活用などを例示し、地域の実態に合わせた細かな計画を検討すべきと提案。今後検討していく旨の答弁あり。